

令和7年度小学校教科教育推進研修（国語科）研修成果物

指導者 福山市立坪生小学校 寄高 沙矢香
第2学年 1組 29名

1 単元名 読んだかんそうをつたえ合おう

「どうぶつ園のじゅうい」（光村図書「こくご 二上 たんぼぼ」）

2 単元について

(1) 教材観

本単元は、小学校学習指導要領（平成29年告示）国語 第1学年及び第2学年の〔思考力、判断力、表現力等〕C読むこと（1）アの指導事項「時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。」及びオの指導事項「文章の内容と自分の体験とを結びつけて、感想をもつこと。」を受けて設定している。

「時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉える」力を育成するためには、説明的な文章を読む際、順序を考えながら内容の大体を捉えて、どのような順序によって説明されているかを考えながら文章の構造を大づかみに把握し、それを手掛かりに内容を正確に理解することが必要である。

また、「文章の内容と自分の体験とを結びつけて、感想をもつ」力を育成するためには、文章の内容を、自分が既にもっている知識や実際の体験と結びつけて解釈し、想像を広げたり理解を深めたりすることで、文章の内容に対して児童一人一人が思いをもつことが必要となる。

本単元で扱う教材文「どうぶつ園のじゅうい」は、動物園の獣医が行う日常的な一日の仕事と、突発的な出来事やその理由が、動物園の獣医師の筆者である「わたし」の視点から説明された文章である。時間軸に沿って説明されているため、時間的な順序を考えながら、内容の大体を捉えて読む力を身に付けさせるのに適している。また、児童にも、一人一人異なった日常的な活動とその日固有の活動とがあり、自分の一日の生活と重ねたり比べたりしながら読むことで、自分の体験と文章の内容を結びつけて理解を深め、動物園の獣医の仕事に対する感想をもつことができるであろう。

以上のことから、本単元で身に付けさせたい資質・能力を身に付けることに適した教材であるといえる。

(2) 児童観

本学級の児童は、説明的な文章「たんぼぼのちえ」を読み、時間的な順序や理由を表す言葉に着目し、叙述と挿絵を結び付けながら文章を読んで内容を理解した上で「たんぼぼがどのようなちえを働かせているのか」「そのわけは何か」を、叙述から探す学習をした。たんぼぼの様子を動作化することにより、89%の児童が時間の順序を捉えられるようになった。しかし、段落の始まりが順序を表す言葉で始まっているなど同じ文型で文章がつけられていたり、他の児童の動作化の様子を見る、説明を聞くなどしたりすれば時間的な順序を捉えることができても、自分の力で文章を読んで時間的な順序を考えて内容の大体を捉えることができるようになるには至っていない。

また、「自分が一番賢いと思ったちえ」についての自分の考えを書かせた際に、どうしてそう思ったのか理由を書くことができた児童は79%であった。そもそも、自分の既存の知識や経験と結びつけて文章の内容を解釈し、理解を深めることが不十分であるため、「なんとなく賢いな」と思うことに留まっており、思いをもった理由までは表現できなかったと考える。

(3) 指導観

指導に当たっては、時間的な順序を考えながら文章の内容の大体を捉えることができるよう、時間を表す言葉に印を付けるなどし、着目させたい部分が明確になるようにする。本教材文は、どの段落も時間を表す言葉で始まっており、「いつ」やる仕事なのかは読み取りやすいため、まだ時間的な順序を考えることが難しい児童が、確実に時間的な順序が理解できるようにしたい。しかし、仕事の理由は、「～からです。」「～のです。」の表現で書かれている段落と、そうでない段落とがある。そこで獣医の「したこと」に着目させ、「だから」や「～するために」という表現も理由を表す言葉であることを押さえる。そうすることで、単なる仕事の内容だけでなく、なぜその仕事が必要で、どのような工夫をしているのか、表に整理させる。こうすることで、時

間的な順序を「考え」ながら、内容の大体を捉えることができるようにしたい。

また、文章を読んで感想を書く学習は、文学的な文章の学習では経験しているが、説明的な文章の学習で身に付けさせたい資質・能力に設定するのは初めてである。そこで、「文章の内容」「既有的知識や経験」「これらを結び付けて深めた理解」「文章の内容に対する思い」の4つの枠を設けたワークシートを使用して感想を書かせる。児童によって、どの部分から表現すると書きやすいかは異なると考えられるため、支援が必要な児童には個別に声をかけ、表現できる部分から読んだ内容と自分の知識や生活経験とを比べ、共通点や相違点を見つけて文章の内容を解釈することにつなげる。そうすることで文章の内容に対する思いをもたせ、自分の感想としてまとめられるようにしたい。

3 単元の目標

- 共通、相違など情報と情報との関係について理解することができる。
〔知識及び技能〕 (2) ア
- 時間的な順序を考えながら、内容の大体を捉えることができる。
〔思考力、判断力、表現力等〕 C (1) ア
- 文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。
〔思考力、判断力、表現力等〕 C (1) オ
- 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。
〔学びに向かう力、人間性等〕

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 共通、相違など情報と情報との関係について理解している。(2) ア)	① 「読むこと」において、時間的な順序を考えながら、内容の大体を捉えている。(C (1) ア) ② 「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(C (1) オ)	① 進んで、文章の内容と自分の体験とを結び付けて感想をもち、学習の見通しをもって、感想を書きまとめようとしている。

<評価の具体及び手立て>

	評価規準【「おおむね満足できる」状況 (B)】	「努力を要する」状況 (C) と判断した児童への指導の手立て
知識・技能①	共通、相違など情報と情報の関係について理解している。(2) ア) ○獣医の仕事で、「毎日すること」と、「その日だけしたこと」の違いを見付け、ワークシートに書いている。【ワークシートの記述】 【毎日する理由】 ・動物の病気を知ったり、動物に顔を覚えてもらったりするため。 ・毎日の動物の様子が分かるように、日記を書く。 ・病気のもとを外に持ち出さないためにお風呂に入る。 【その日だけの理由】 ・検診は毎日しないから。 ・病気やけがは、突然起こることがあるため。	○仕事に対する理由や工夫について、段落ごとに区切って探すよう助言し、理由を探しやすくなるよう支援する。

「読むこと」において、時間的な順序を考えながら、内容の大体を捉えている。(C (1) ア)

○文章全体を読んで時間的な順序を考えながら文章の内容の大体を捉え、獣医がいつ、どんな仕事をしたのかについて、理由と工夫をワークシートに書いている。【ワークシートの記述】

○「いつ」や「どんな仕事をしたのか」が分かりやすいように、教材文に線を引いたり印を付けたりして、見付けやすいようにする。

思考・判断・表現①

おわり		中								はじめ
⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	①	
まとめ	どうぶつ園 を出る前	一日のしごと のおわり	夕方	お昼すぎ	お昼前	見回りがお わるころ	朝	いつ	わだいていい	
			ペンギン	フラビー	にほんざる	いのしし		どうぶつ園を見 回る。	どうぶつ	
	おふろに入る。	日記を書く。	ボールペンをと り出した。	はぐきのちりよ うをした。	くすりをませ た。	おなかにきか い	おはよう	ひっしやのしごと	わけ・くふう	
	④びょうきをも外にも出さないため。 ⑤人間のびょうきのもになるものがついている ことがあるから。	⑥今日あったことやどうぶつを見て気がつい たことを日記を書く。 ⑦同じようなびょうきやけがあったとき、より よいちりようがでるから。	⑧大いそぎでびょういんにはこんだ。 ⑨そっとボールペンをとり出した。 ⑩ボールペンをのこしてしまつたため。 ⑪いのちにかかわりたいへんなことだから。	⑫はれないように、三人のしいくいんさんにおさ えてもらつて、ちりようをした。	⑬こなをほちみつにませた。 ⑭けがをしたにはほんざるがくすりをのまないから ⑮えさの中にくすりを入れているませよとした ⑯くすりをこなにして、バナナにはさんでわたした 。	⑰おなかに赤ちゃんがいるかどうかわかるため ⑱こわがらないように、えさを食べている間にそ っと当てた。	⑲おはようと言ひ、声もおぼえてもらう。 ⑳なれてもらうため。			

どうぶつ園のじゅうい
うえだ みや文

①め じゅういさんの一日のしごとをまとめよう。

思考・判断・表現②

「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(C (1) オ)

○獣医の仕事についての叙述と、自分の体験とを結び付けて文章の内容についての理解を深めて感想をもち、ワークシートに書きまとめている。

動物園の獣医は、にほんざるに工夫して薬を飲ませていることが分かりました。(文章の内容)

私も苦い薬が苦手で、アイスに薬をのせて、飲んだことがあります。(既存の知識や経験)

人も動物も一緒だということが分かり、獣医さんは工夫して治療しているんだなと分かりました。(理解を深めたこと)

これからは、飼っている犬が薬を飲まないときは、獣医さんのおやつに薬を混ぜて飲ませる工夫をしたいと思います。(文章の内容に対する思い)

○ワークシートを4つの枠に分けておき、児童が書きやすい部分から書けるようにする。

主体的に学習に取り組む態度

進んで、文章の内容と自分の体験とを結び付けて感想をもち、学習の見通しをもって、感想を書きまとめようとしている。

○学習課題に沿って、自分が書いた感想を粘り強く試行錯誤しながら見直したり修正したりしている。

○学習した内容を確認したり、自分の身近な体験を質問カードから選んだりして、順序に沿って一つずつ一緒に考えていく。

5 指導と評価の計画（全8時間）

次	時	学 習 内 容	評 価			
			知	思	主	評価規準・評価方法 等
一	1・2	○動物園の獣医について、知っていることを話し合う。 ○範読を聞き、初発の感想を書き、交流する。 ・心に残った仕事に線を引きながら聞き、その理由を書く。 ・質問シートに自分の体験を書く。 ○学習計画を立て、見通しをもつ。				
二	3・4	○獣医の1日の仕事を、時間の順序に気を付けて、ワークシートに整理する。 ・時間の順序に気を付けて、「いつ」「どんな仕事をしているのか」を読み取る。		○		[思考・判断・表現①] <u>ワークシート・発言</u> ・「いつ」「どんな仕事をしているのか」についてのワークシートへの書き込みや、つぶやきの内容の確認
	5	○獣医の1日の仕事で、「毎日すること」と「その日だけしたこと」を分類し、理由を考える。 ・「わけ」「工夫」を読み取る。	○			[知識・技能①] <u>ワークシート・発言</u> ・共通、相違など情報と情報の関係についてのノートへの書き込みや本文に引いた線の箇所・内容の確認
	6 (本時)	○獣医の仕事について、自分の知識や経験と結び付けてもった文章の内容に対する感想を書く。		○		[思考・判断・表現②] <u>ワークシート</u> ・文章の内容と自分の体験とを結び付けて感想をもっているかの確認
	7	○書いたものを友達と交流し、感想を伝え合う。			○	[主体的に学習に取り組む態度] <u>児童の様子</u> ・進んで、前時までにもった感想を見直したり修正したりしようとしているかの確認
三	8	○学習の振り返りをする。 ・学習を振り返り、初読の感想とワークシートでまとめた文章とを比べて、獣医の仕事について分かったことや身に付いた力、友達と交流して感じたことなどについて整理する。				

6 本時の学習

(1) 本時の目標

獣医の仕事について、自分の体験と結び付けて感想をもち、もった感想を文章に書くことができる。

(2) 学習の展開

学習活動	○指導上の留意点 ・予想される児童の反応 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	評価規準 (評価方法)
1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてを確認する。	○学習計画を確認し、見通しをもって学習に取り組めるようにする。	
自分のこととくらべて考えたことをまとめよう。		
2 質問カードを見ながら、筆者の仕事と自分の体験を友達と話す。 ・筆者や動物と似たような体験。 ・筆者や動物、友達とは違う体験。	○具体的な本文に沿った質問を用意することで、児童が目的に合わせて話し合えるようにする。 ○友達と体験を交流することで、自分の体験を思い出したり、違う体験について考えを広げたりする。 ・私にもほんざるみたいに、苦い薬をアイスに混ぜて飲んだことがあるよ。 ・僕はペンギンみたいに、何かを飲み込んだことはないけど、大きなけがをして、病院で治療してもらったことがあるよ。	
3 自分のことと比べて、筆者の仕事について考えたことをワークシートに書く。	○「自分が心に残った獣医の仕事」「自分の知識や体験」「くわしく読んで分かったこと」「自分の考えや感想」の4つの枠でまとめるようにする。 ◆初発の感想で書いた仕事を思い出させたり、質問シートに記入した自分の体験から書きやすい仕事を選んだりして書くようにする。 ○書き終わった児童は、自分で読み直したり、友達と読み合ったりして、自分が伝えたいことが書き表せているか確認する。	○文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(ワークシート)
4 本時の学習を振り返り、次時の見通しをもつ。	○本時の振り返りをする。	

(3) 板書計画

<p>自分のこと ・どうしてかというと、 くわしく読んで分かったこと 自分の思ったこと・考えたこと</p>	<p>〇ころにのこったしごと ・じゅういさんのしごとで、</p>	<p>どうぶつ園のじゅうい うえだ みや</p>
---	--------------------------------------	------------------------------

①自分のこととくらべて考えたことをまとめよう。

おわり	⑤	④	③	②	①	①	はじめ
まとめ	⑤ どうぶつ園 を出発前	④ どのおわり	③ 一日のしごと	② タカ	① お昼	① お昼前	① わだいていじ
	おふろに入る	日記を書く	ペンギン	ポールペンをと	お昼すき	にほんさ	
	①自分のこととくらべて考えたことをまとめる。	②自分のこととくらべて考えたことをまとめる。	③自分のこととくらべて考えたことをまとめる。	④自分のこととくらべて考えたことをまとめる。	⑤自分のこととくらべて考えたことをまとめる。	⑥自分のこととくらべて考えたことをまとめる。	⑦自分のこととくらべて考えたことをまとめる。

7 指導の実際

(1) 指導上の工夫

ア 第一次

単元のはじめに学習計画（写真1）を児童と一緒に立てた。教科書に載っていることの他に、動物園や水族館で働く獣医や飼育員の仕事について知ることができるよう、教室に関連図書（写真2）を用意し、自由に読めるようにした。また、ポップを作成し、興味や関心もてるように工夫した。

学習計画を児童と一緒に立て掲示することによって、学習の見通しが立ち、意欲的に学びに向かう姿が見られた。

授業以外の時間でも読み、新しい発見を教えてください、友達にクイズを出したりして知識を広げることができた。

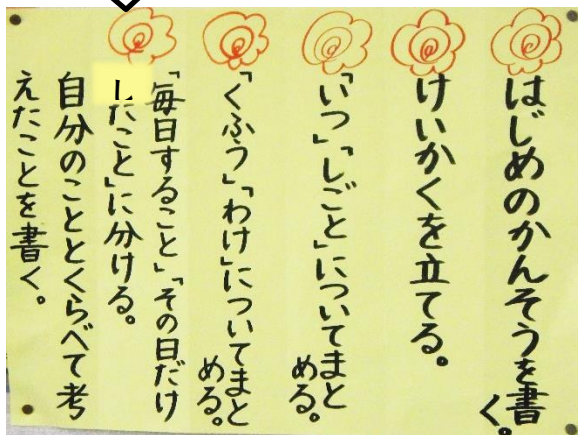


写真1 単元計画の掲示

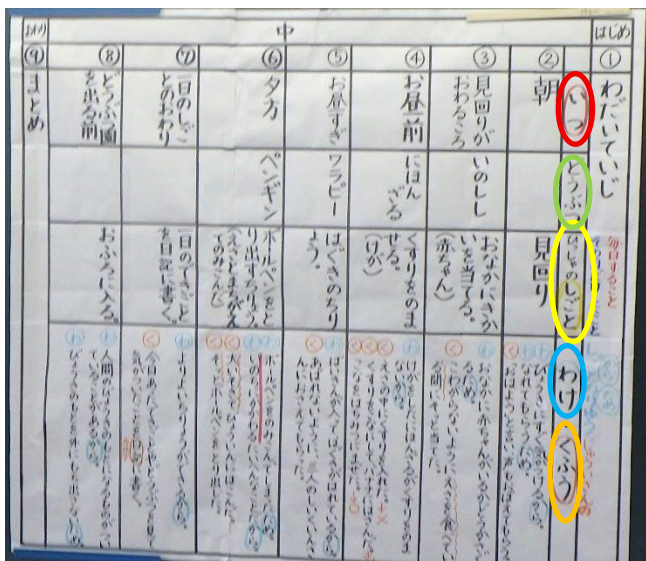


写真2 関連図書コーナー

イ 第二次

獣医の1日の仕事を時間のに沿って読み取るために、本文の順序が分かる言葉に印を付けていき、その後ワークシートに整理した。本文に印を付けていく際には、デジタル機器を使用して教材文を黒板に提示し、どこに印を付けたかを確認しながら読み進めた。

本文の内容を整理する際には、児童と同じ書き方になるよう、模造紙でワークシートと同じ枠を書き、どのようにまとめていけばよいのか分かりやすくなるようにした。（写真3）



「いつ」「どうぶつ」「ひっしやのしごと」「わけ・くふう」に分けて読み取っていった。色分けをして、見つけた本文に線を引いて、友達と交流しながらワークシートにまとめた。

写真3 ワークシートと同じ掲示

【思考・判断・表現①】

「十分満足できる」状況（A）

文章全体を読み、時間的な順序を考えながら、獣医がいつ、どんな仕事をしたのかについて、色分けしながら線を引き、整理している。

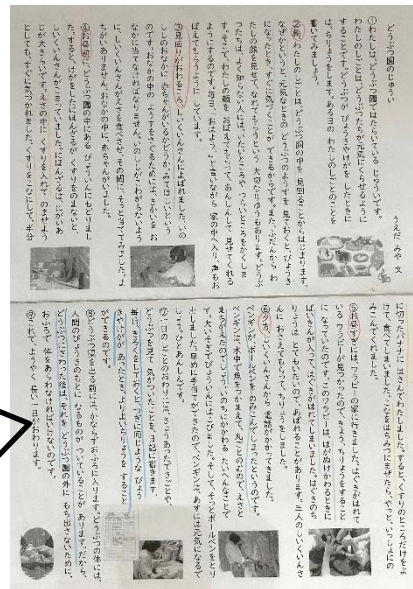


いつ、どんなしごと、わけ、くふうを見付け、色分けしながら線を引いている。

いつ、どんなしごと、わけについて見付けている。（工夫について大体が見付けられている。）

「おおむね十分満足できる」状況（B）

文章全体を読み、獣医がいつ、どんな仕事をしたのかについて、大まかに捉え、理由と工夫を書き込んでいる。



【思考・判断・表現②】

「十分満足できる」状況（A）

獣医の仕事についての叙述と、自分の体験とを結び付けて文章全体の内容についての理解を深めて感想をもち、ワークシートに書きまとめている。

「おおむね十分満足できる」状況（B）

獣医の仕事についての叙述と、自分の体験とを結び付けて文章の内容についての理解を深めて感想をもち、ワークシートに書きまとめている。

自分のこと

かんほうみたくに苦い薬が
苦手なのでおきたいしたりはちみつに
ませて今は飲んだりしています。
ふつは水だけで飲む薬だけど、
苦手だから、くふうをして毎日飲んで
います。

1番こころにのこったしごと

にはんざりのくふう料づく
物かたばやけにはさんだりはちみつに
ませたりしてくふうをして薬を
かんばて飲ませようとしていることが
すごいと思えました。わたしもも
薬を飲むようにかんばりたい
です。

自分

自分はずいぶんじょうぶな
たがにけど、ペンギンには
いのちが危いから、たりり
る。

1番こころにのこったしごと

ペンギンが
ボールペンを
のみこんだ

自分

自分は昔どうぶつが
大へんことをしている
と思っていたけど、じゅういさんは
毎日お仕事をしているのとお、大へん
だんと思えました。わたしも
しょうらい大へんことをするんだん
思いました。

どうぶつ園では
毎日こんなことをも
ているんだんと思っています。
今は味がいるのであまり行けないけど
妹が大きくなったらまた、行きたいです。
(福山どうぶつ園に。)

ペンギン

ペンギンが
ボールペンを
のみこんだ

ペンギン

ペンギンが
ボールペンを
のみこんだ

ペンギン

ペンギンが
ボールペンを
のみこんだ

ペンギン

ペンギンが
ボールペンを
のみこんだ

思ったこと・考えたこと

分かったこと

思ったこと・考えたこと

分かったこと

【主体的に学習に取り組む態度】

「十分満足できる」状況（A）

学習課題に沿って、獣医の仕事と自分の体験とを結び付けた感想が書けるとともに、これからの自分についての考えをもてるよう、自分が書いた感想を粘り強く試行錯誤しながら見直したり修正したりしようとしている。

「おおむね十分満足できる」状況（B）

学習課題に沿って、獣医の仕事と自分の体験とを結び付けた感想が書けるとともに、自分が書いた感想を粘り強く試行錯誤しながら見直したり修正したりしようとしている。

(2) 児童の評価

評価		A	B	C
知識・技能	① 共通、相違など情報と情報との関係について理解している。（（2）ア）	2人	26人	1人
思考・判断・表現	① 「読むこと」において、時間的な順序を考えながら、内容の大体を捉えている。（C（1）ア）	6人	23人	0人
	② 「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。（C（1）オ）	2人	22人	5人
主体的に学習に取り組む態度	① 進んで、獣医の仕事について整理して読んだことと自分の知識や体験とを結び付けて感想を書きまとめようとしている。	3人	26人	0人

9 成果と課題

(1) 成果

- 質問カードがあることによって、本文に書かれている獣医の仕事と児童が自分の体験とを結び付けて感想を書くことができていた。また、友達と交流することによって、自分のしたことのない体験談が聞けたり、自分の体験を想起したりするきっかけにもつながった。
- スモールステップでワークシートを用意したことで、書くことへの抵抗感や、何を書けばよいか悩む児童が少なかった。また、友達との交流の中で、書き加えたり修正したりする姿も見られた。「獣医の仕事について説明されていることと自分の体験とを結び付けて理解を深め、文章の内容に対する感想を書く」活動では、児童が今までの学習を生かし、学習したワークシートや本文の書き込みを見ながら、全員書き終えることができ、達成感を味わうことができていた。

(2) 課題

- 児童によっては、獣医の仕事より動物の様子の方が共感しやすいことがあり、にほんぎるやワラビーに共感し、獣医の仕事につなげて書くことに難しさを感じている児童がいた。質問シートには、書くことを焦点化させるため、獣医の仕事を中心とした驚きや発見、疑問に関する質問にしばらくの必要があると感じた。
- 今回は学級で交流して終末を迎えたが、書く意欲をより高めるために、上級生に読んでもらい、交流する場や、1年生の社会見学（動物園）に合わせて書いた文章を伝えに行くなど、相手意識のあるゴールの設定をしていきたい。

(3) 今後に向けて

- 書く活動に抵抗がある児童への手立てとして、モデルを示す。
- 自分の体験と結び付けて感想を書く場を、日ごろから意識的に設定していく。学習のふりかえりや感想、テーマを設定した作文などを取り入れていきたい。

付録 選書リスト

書名	著者名	出版社名
どうぶつ園のじゅうい びょうきやけがをなおすしごと	植田美弥 監修	金の星社
どうぶつ園のじゅうい 赤ちゃんをまもるしごと	植田美弥 監修	金の星社
どうぶつ園のじゅうい ぜつめつからすくうしごと	植田美弥 監修	金の星社
いのちをまもるじゅういのしごと 1 どうぶつ園のじゅういの日	東武動物公園 監修	小峰書店
いのちをまもるじゅういのしごと 2 どうぶつ園のじゅういのしごと	東武動物公園 監修	小峰書店
いのちをまもるじゅういのしごと 3 どうぶつ園に行ってみよう	東武動物公園 監修	小峰書店
いのちをまもるじゅういのしごと 4 水ぞくかんのじゅういの日	東武動物公園 監修	小峰書店
いのちをまもるじゅういのしごと 5 水ぞくかんのじゅういのしごと	東武動物公園 監修	小峰書店
いのちをまもるじゅういのしごと 6 水ぞくかんに行ってみよう	東武動物公園 監修	小峰書店
飼育員さんひみつおしえて！ みんなわくわく水族館 海の動物いっぱい編	松橋利光 写真 池田菜津美 文 竹嶋徹夫（新江ノ島水族館）監修	新日本出版社
飼育員さんひみつおしえて！ みんなわくわく水族館 お魚いっぱい編	松橋利光 写真 池田菜津美 文 竹嶋徹夫（新江ノ島水族館）監修	新日本出版社